

# カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター  
 実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研(株)

A. 生産管理	管理手法	<b>製造分野におけるDX推進</b>
---------	------	---------------------

コースのねらい	生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革(DX)を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
	1 製造業におけるDXの理解	(1)DXとは ・新しい価値を創造するDX ・製造業におけるDXが目指すもの ・なかなか進まないDX (2)スマート化を目指す ・スマートファクトリ ・スマートプロダクト ・スマートサービス (3)DXの狙い ・業務革新と顧客価値の創造 ・製造業におけるDXが目指すもの ・DX推進の現状把握と課題認識 【演習①】アンケート	1.0
	2 DX実現事例	(1)スマートファクトリ実現事例 ・製造部門におけるDXの紹介 ・デジタル技術で解決する事例 (2)DXで解決したいものづくりの課題 ・属人化した仕事の標準化 ・現場改善にも使えるデジタルツール ・QCD管理データの棚卸し【演習②】グループ討議 (3)データ収集・連携・活用方法 ・全社最適で推進するDX ・開発～製造～サービスをデータで繋げる	1.5
	3 DX推進の目標設定と解決策	(1)ものづくりの課題抽出 ・ものと情報の流れ図の作成【演習③】ものと情報の流れ図 or 工程フロー図作成演習 ・工程フロー図の作成 ・開発～製造リードタイム短縮 (2)DXで解決する課題抽出 ・業務革新、顧客価値創造に向けて ・アナログ処理のデジタル化 【演習④】工程データの整理 (3)様々な課題をDXで解決する ・DX推進体制の整備 ・DXの目的、目標設定 ・取り組み優先順番の決定、DX推進マップの作成	2.0
	4 DX推進の計画と実行	(1)データドリブンものづくり実践 ・PoCIによるPDCA活動について ・計画と実績の見える化 【演習⑤】DX推進マップの作成 ・データ収集、蓄積、加工 (2)社内部門連携で進めるDX ・全社的横断的なDX組織づくり ・中長期DX推進の実行計画の策定 (3)社外資源の活用と連携 ・システム開発の手順 ・アジャイル開発とフロントローディング ・提案依頼書作成 (4)DX推進人材育成と人材の確保 ・DX推進するために必要な技術と人材 ・人材育成の要点	1.5
演習	①DX推進の現状把握のアンケート ②DX推進に関する課題認識についてのグループ討議 ③自社における製造課題、顧客価値を整理する。 ④工程データの整理 ⑤自社においてデジタル化で解決できるテーマを考える(DXマップ作成)からの選択演習とします。		
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
(1) 製造業においてDXが成功するために必要な要件を理解して頂きます。 (2) 企業におけるDX推進活動に有効な考え方を説明し、自社の今後のDX活動の構想が描けるように進め方を学んで頂きます。実際に考えて、グループ討議を重ねる議論することで新しい気づきを発見する。 (3) 演習を通じて、自社の生産プロセスを革新するためのDXの方策を検討します。

講師から一言
製造企業におけるDX推進の動向を知り、組織的な推進方法を理解する研修。デジタル化によるビジネスモデル改革を学ぶカリキュラムです。